

不妊治療 30 代後半以降 患者増

今回の「病院の実力」は不妊治療を取り上げた。

不妊治療は通常、排卵日を調べ、当日かその前後に性交する「タイミング法」から始め、次いで、精子を洗浄・濃縮して排卵日に合わせて子宮内に注入する「人工授精」を行う。それで妊娠しなければ「体外受精」などに進むことが多い。一覧表では、2011 年の延べ妊娠数と、そのうち

病院の実力

病院の実力「不妊治療」

医療機関別 2011 年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	延べ妊娠数 (件)	体外受精 (件)	顕微授精 (件)	凍結融解胚移植 (件)	35 歳以上の割合 (%)
杉山産婦人科	1340	210	261	370	66
梅ヶ丘産婦人科	768	53	15	182	59
木場公園②	551	30	153	245	32
あいウイメンズ②	451	105	49	98	34
うすだレディース②	403	23	45	177	55
はらメディカル②	399	10	6	279	67
山王	379	23	18	300	76
ウイメンズ②大泉学園	367	-	-	104	-
陣内ウイメンズ②	291	15	12	67	65
みむろウイメンズ②	276	47	54	94	53
東京 HART②	253	19	11	223	76
池下レディース②吉祥寺	237	62	22	31	43
楠原レディース②	225	36	8	34	65
国立成育医療研究セ	150	7	3	16	65
ときわ台レディース②	148	9	11	46	49
はるね②銀座	145	1	1	22	55
井上レディース②	142	10	3	13	49
浜田	138	12	0	9	64
荻窪病院・虹②	126	5	11	77	73
慈恵医大	111	0	10	41	100
慶応大	108*	14	11	83	73
昭和大	101	3	19	10	61
日赤医療セ	70	2	0	0	64
赤坂見附宮崎産婦人科	68	7	4	33	72
東邦大大森	66	13	30	23	71
松本レディース②南池袋	286	2	15	58	48
日本医大	40	9	5	19	63
順天堂大	35	16	3	16	69
東京医科歯科大	35	4	1	1	69
帝京大	34	4	0	2	100
武蔵野赤十字	30	3	0	3	77
杏林大	29	4	0	4	62
藤間産婦人科医院	23	3	1	2	65
臼井医院	-	37	46	129	-
東峯婦人②	-	1	0	0	-

妊娠数は、胎嚢(たいのう)が確認されたもの。「*」がついているものは、体外受精、顕微授精など高度治療の件数のみで、タイミング法などは含まない。「②」はクリニック。「セ」はセンター。「-」は無回答または不明。

東京

「体外受精」「顕微授精」「凍結融解胚移植」の件数、妊娠数に占める 35 歳以上の

割合(%)を掲載した。「体外受精」は、注射で取り出した卵子に精子をふりかけて受精させ、培養器で育ててから子宮に戻す。「顕微授精」は、状態の良

い精子を一つだけ選んで卵に注入し、やはり培養した後に子宮に戻す。「凍結融解胚移植」は、体外受精や顕微授精によっ

てできた受精卵を一度凍結し、子宮の状態の良い時を選んで融解して移植する。日本産科婦人科学会が 08 年、多胎予防のため、子宮に戻す受精卵を原則 1 個とする指針を出したことが

ら、余った受精卵を有効に使おうと、凍結の件数が多くなっているとみられる。晩婚化などに伴い、30 歳代後半以降の患者も増えている。国立成育医療研究センターの齊藤英和・不妊診療科医長は「35 歳女性の体外受精による妊娠率は約 23%で、年が 1 歳増えるごとに 1~2 割ずつ下がる。なるべく早く診察を受けてほしい」と話している。

昭和大学病院産婦人科の不妊治療の取り組みは、「当施設における生殖内分泌・不妊外来」のページをご覧ください。

